

「リレーションシップバンキングの  
機能強化計画」の進捗状況表  
( 要 約 )

平成15年11月

株式会社 青森銀行

## 目 次

	( ページ )
( 全体的な進捗状況及びそれに対する評価 )	1
( アクションプログラムに基づく個別項目の進捗状況の要約 )	
. 中小企業金融の再生に向けた取組み	
1 . 創業・新事業支援機能等の強化	1
2 . 取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化	2
3 . 早期事業再生に向けた積極的取組み	3
4 . 新しい中小企業金融への取組みの強化	5
5 . 顧客への説明態勢の整備、相談・苦情処理機能の強化	6
6 . 進捗状況の公表	6
. 各金融機関の健全性の確保、収益性の向上等に向けた取組み	
1 . 資産査定、信用リスク管理の強化	7
2 . 収益管理態勢の整備と収益力の向上	8
3 . 地域貢献に関する情報開示等	8
( 要注意先債権等の健全債権化及び不良債権の 新規発生防止のための体制整備強化並びに実績公表 )	9

## 機能強化計画の進捗状況(要約) [地域銀行版]

### 1. 15年4月から9月までの全体的な進捗状況及びそれに対する評価

15年度上期においては、検討開始に停まった実施予定項目もあるが、全体的にはスケジュール通りの進捗となった。特に、重要テーマとして掲げた「要注意先債権等の健全債権化及び不良債権の新規発生防止」の項目では債務者区分のランクアップ件数目標5先に対して5先の実績となった。これは、本年4月企業支援室を設置し、企業経営者と一体となった業績改善支援に努めた成果が表れたものと捉えている。一方で債務者区分がランクダウンした先もあり、当行担当者の経営診断・指導面でのスキルアップを図るとともに、企業経営者との間で経営改善に向けた共通認識を醸成し、今後一層、支援体制の強化に取り組んでいく。

### 2. アクションプログラムに基づく個別項目の計画の進捗状況

項目	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況 (15年4～9月)	備考(計画の詳細)
		15年度	16年度		
. 中小企業金融の再生に向けた取組み					
1. 創業・新事業支援機能等の強化					
(1) 業種別担当者の配置等融資審査態勢の強化	1. 業種担当制の見直し 2. 「(財)21あおり産業総合支援センター」との連携強化 3. 「(財)青森地域社会研究所」との連携強化	1. 業種選定と人員再配置 2. 外部機関との委託ルールの検討	1. 主要業種の審査ポイント等を営業店へ提供 2. 外部機関との提携開始	1. 業種選定のため資料整備 2. 外部機関との情報交換開始	
(2) 企業の将来性や技術力を的確に評価できる人材の育成を目的とした研修の実施	1. 行内研修カリキュラムの変更 2. 行内研修・セミナーの実施 3. 本部スタッフ主体に行外研修派遣の実施 4. 業種別融資渉外ガイドの全店展開 5. 営業店から審査部門への留学制度の継続運用 6. 通信講座の特別幹旋	1. 業種別融資渉外ガイドの行内web展開 2. 本部留学の実施 3. 行内研修・セミナーの実施 4. 行外研修への本部スタッフ主体派遣 5. 目利き関連通信講座の特別幹旋	1. 本部留学の実施 2. 行内研修・セミナーの実施 3. 行外研修への本部スタッフ主体派遣 4. 目利き関連通信講座の幹旋	1. 財務分析セミナーの開催、参加者59名 2. 業種別融資渉外ガイドの行内web展開(15年5月全店運用開始) 3. 本部審査部門への留学2名実施 4. 通信講座15年9月幹旋、関連講座受講数128名	1. 行内研修は年1回(30名程度)の実施予定 2. 行外研修は2年間で本部スタッフ主体に15名程度派遣予定 3. 本部留学は2年間で6名程度実施予定 4. 目利き関連通信講座は延べ100名程度の幹旋計画
(3) 産学官とのネットワークの構築・活用や日本政策投資銀行との連携。「産業クラスターサポート金融会議」への参画	1. 産学官とのネットワークを構築するとともに、連携強化 2. 産業クラスター計画への参加	1. 「産業クラスターサポート金融会議」への参加 2. 「北東北3行共同ビジネスネット」の商談会の開催	1. 「産業クラスターサポート金融会議」への参加 2. 大学、各種業界団体との情報交換	1. 6月、「産業クラスターサポート金融会議」へ参加、青森県の幹事行に就任 2. 11月19日に開催する北東北三行主催の商談会に向けて、青森県や各大学、「(財)21あおり産業総合支援センター」と連携し、出展企業の紹介等情報交換を実施、継続中	
(4) ベンチャー企業向け業務に係る、日本政策投資銀行、中小企業金融公庫、商工組合中央金庫等との情報共有、協調投融资等連携強化	1. 政府系金融機関との情報交換会の開催	1. 政府系金融機関との情報交換会の開催	1. 政府系金融機関との情報交換会の開催	1. 情報担当者を配置 2. 7月、ベンチャー企業2社に対し助成金を交付	

## 機能強化計画の進捗状況(要約) [地域銀行版]

### 2. アクションプログラムに基づく個別項目の計画の進捗状況

項 目	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況 (15年4～9月)	備 考 (計画の詳細)
		15年度	16年度		
(5) 中小企業支援センターの活用	1. 各団体との情報交換会を開催し、連携を強化する 2. 事業者向け商品ガイドブックの改定	1. 情報交換会の開催 2. 事業者向け商品ガイドブックの改定	1. 情報交換会の開催 2. 事業者向け商品ガイドブックの改定	1. 「(財)21あおり産業総合支援センター」および「地域中小企業支援センター」との情報交換を実施	
2. 取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化					
(1) 経営情報やビジネス・マッチング情報を提供する仕組みの整備	1. ビジネスマッチングに関して「北東北三行共同ビジネスネット」「地方銀行情報ネットワーク」「CNS情報サイト」を活用 2. 行内LANの活用と外部専門家とのネットワーク構築により、情報収集体制の整備と充実	1. 北東北三行によるビジネスマッチング活動および商談会の開催 2. 外部専門家との相談ネットワークシステム構築	1. 北東北三行によるビジネスマッチング活動継続	1. 北東北三行ビジネスマッチング情報は44件、内成約実績は2件。11月19日の商談会開催に向けて出展企業の募集等を実施 2. 経営情報の提供は、「CNS情報サイト」を活用し、会員増強により会員は約900先の増加 3. 専門家とのネットワークシステムを導入	
(3) 要注意先債権等の健全債権化及び不良債権の新規発生防止のための体制整備強化並びに実績公表	(別紙様式1及び2参照)				
(4) 中小企業支援スキルの向上を目的とした研修の実施	1. 行内研修カリキュラムの変更 2. 行内研修の開催 3. 本部スタッフ主体行外研修派遣の実施 4. 通信講座の特別幹旋 5. 中小企業大学校への職員派遣	1. 行内研修の実施 2. 行外研修への本部スタッフ主体派遣 3. 支援スキル関連通信講座の特別幹旋 4. 中小企業大学校への職員派遣準備(選抜実施)	1. 行内研修の実施 2. 行外研修への本部スタッフ主体派遣 3. 支援スキル関連通信講座の幹旋 4. 中小企業大学校への職員派遣	1. 行外研修派遣計画策定(下期3名派遣予定) 2. 通信講座15年9月幹旋、関連講座受講者数54名	1. 行内研修は年1回(30名程度)の実施予定 2. 行外研修は2年間で本部スタッフ主体に13名程度派遣予定 3. 支援スキル関連通信講座は延べ100名程度の幹旋計画 4. 中小企業大学校へは年1名程度職員派遣予定

## 機能強化計画の進捗状況(要約) [地域銀行版]

### 2. アクションプログラムに基づく個別項目の計画の進捗状況

項目	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況 (15年4～9月)	備考(計画の詳細)
		15年度	16年度		
(5) 「地域金融人材育成システム開発プログラム」等への協力	<ol style="list-style-type: none"> <li>経営管理・財務管理能力向上を目的とした取引先経営幹部向けセミナー等の実施</li> <li>財務最高責任者・FP1級資格者育成に向けた対策講座・スクーリングの実施</li> <li>中小企業CFO育成に向けた講師派遣等の積極対応</li> <li>産学官連携モデル事業等への対応</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>セミナーの開催(1回)</li> <li>財務最高責任者(JCFO)資格取得向け通信講座の幹旋</li> <li>FP1級対策講座の実施</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>セミナーの開催(2回)</li> <li>JCFO資格取得向け通信講座の幹旋、スクーリングの実施</li> <li>FP1級対策講座の実施</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>JCFO通信講座24名受講中</li> <li>JCFO検定一次試験幹旋、7名受験予定</li> <li>FP1級対策講座スケジュール策定(11月、12月実施予定)</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>JCFO資格取得向け通信講座を幹旋し、スクーリングは20名程度の実施計画</li> <li>FP1級受験対策講座は40名程度の実施計画</li> <li>産学官モデル事業については、参画要請がある場合は積極的に対応</li> <li>中小企業CFOに関する講師派遣については積極対応</li> </ol>
3. 早期事業再生に向けた積極的取組み					
(1) 中小企業の過剰債務構造を解消・再生の取組み。「早期事業再生ガイドライン」の趣旨を踏まえた事業再生の早期着手	<ol style="list-style-type: none"> <li>プリパッケージ型事業再生等のノウハウ蓄積のために人材を育成</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>行内研修の実施、行外研修・セミナーの派遣等</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>行内研修の実施、行外研修・セミナーの派遣等</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>行内研修「企業再生支援セミナー」開催 青森県中小企業再生支援協議会主催研修へ参加</li> <li>外部コンサルタント機関等との情報交換開始</li> </ol>	
(2) 地域の中小企業を対象とした企業再生ファンドの組成の取組み	<ol style="list-style-type: none"> <li>企業再生ファンド組成のノウハウ蓄積のために</li> <li>他県のファンド組成の情報収集</li> <li>政府系金融機関等との情報交換会開催</li> <li>人材の育成</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>政府金融機関との定例的な情報交換会の開催</li> <li>行内研修の実施、行外研修・セミナーの派遣等</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>政府金融機関との定例的な情報交換会の開催</li> <li>行内研修の実施、行外研修・セミナーの派遣等</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>政府系金融機関との情報交換実施</li> <li>行内研修「企業再生支援セミナー」開催 青森県中小企業再生支援協議会主催研修へ参加</li> <li>外部コンサルタント機関等との情報交換開始</li> </ol>	
(3) デッド・イキティ・スワップ、DIPファイナンス等の活用	<ol style="list-style-type: none"> <li>企業再生のノウハウ蓄積のために人材を育成</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>行内研修の実施、行外研修・セミナーの派遣等</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>行内研修の実施、行外研修・セミナーの派遣等</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>行内研修「企業再生支援セミナー」開催 青森県中小企業再生支援協議会主催研修へ参加</li> <li>外部コンサルタント機関等との情報交換開始</li> <li>政府系金融機関との情報交換実施</li> </ol>	

## 機能強化計画の進捗状況(要約) [地域銀行版]

### 2. アクションプログラムに基づく個別項目の計画の進捗状況

項目	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況 (15年4～9月)	備考(計画の詳細)
		15年度	16年度		
(4) 「中小企業再生型信託スキーム」等、RCC信託機能の活用	1. 企業再生のノウハウ蓄積のために人材を育成	1. 行内研修の実施、行外研修・セミナーの派遣等	1. 行内研修の実施、行外研修・セミナーの派遣等	1. 行内研修「企業再生支援セミナー」開催 青森県中小企業再生支援協議会主催研修へ参加 2. 外部コンサルタント機関等との情報交換開始 3. 政府系金融機関との情報交換実施	
(5) 産業再生機構の活用	1. 企業再生のノウハウ蓄積のために人材を育成	1. 行内研修の実施、行外研修・セミナーの派遣等	1. 行内研修の実施、行外研修・セミナーの派遣等	1. 行内研修「企業再生支援セミナー」開催 青森県中小企業再生支援協議会主催研修へ参加 2. 外部コンサルタント機関等との情報交換開始 3. 政府系金融機関との情報交換実施	
(6) 中小企業再生支援協議会への協力とその機能の活用	1. 再生支援協議会との情報交換 2. 協議会の機能活用先の選定検討	1. 協議会との情報交換実施	1. 情報交換の継続と機能活用先の選定検討	1. 協議会主催「中小企業再生支援担当者等研修」に参加 2. 連携態勢検討のための情報交換を実施	
(7) 企業再生支援に関する人材(ターンアラウンド・スペシャリスト)の育成を目的とした研修の実施	1. 行内研修カリキュラムの変更 2. 行内研修・セミナーの開催 3. 本部スタッフ主体行外研修派遣の実施 4. 通信講座の特別幹旋	1. 行内研修・セミナーの実施 2. 行外研修への本部スタッフ主体派遣 3. 再生支援関連通信講座の特別幹旋	1. 行内研修・セミナーの実施 2. 行外研修への本部スタッフ主体派遣 3. 再生支援関連通信講座の幹旋	1. 行外研修への派遣計画策定(15年度下期3名派遣予定) 2. 行内研修(審査管理講習会)実施(9月、16名) 3. 企業再生支援セミナー実施(9月、67名) 4. 通信講座15年9月幹旋、関連講座受講数148名	1. 行内研修は半期毎3回(45名程度)の実施予定 2. 行外研修は2年間で本部スタッフ主体に13名程度派遣予定 3. 再生支援関連通信講座は延べ100名程度の幹旋計画

## 機能強化計画の進捗状況(要約) [地域銀行版]

### 2. アクションプログラムに基づく個別項目の計画の進捗状況

項目	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況 (15年4～9月)	備考(計画の詳細)
		15年度	16年度		
4. 新しい中小企業金融への取組みの強化					
(1) 担保・保証へ過度に依存しない融資を促進等。第三者保証の利用のあり方。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 財務スコアリングモデルを活用したプロパー商品の拡充</li> <li>2. 案件協議制度の継続</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 財務スコアリングモデルを活用した無担保・第三者保証人不要プロパー融資商品の検討</li> <li>2. 案件協議制度の継続</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 財務スコアリングモデルを活用した無担保・第三者保証人不要プロパー融資商品の商品化</li> <li>2. 案件協議制度の継続</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 無担保・第三者保証人不要プロパー融資商品の商品化に向けた検討開始</li> <li>2. 案件協議制度を継続実施</li> </ol>	
(3) 証券化等の取組み	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 県および政府系金融機関との連携を図り、取組みを検討</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 関係団体および政府系金融機関等との情報交換会の開催</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 関係団体および政府系金融機関等との情報交換会の開催</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 県の証券化動向についてヒアリング実施</li> <li>2. 関係機関(政府系金融機関等)の説明会に参加、情報収集を実施</li> </ol>	
(4) 財務諸表の精度が相対的に高い中小企業に対する融資プログラムの整備	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「TKC戦略経営者ローン」の導入検討</li> <li>2. 新財務スコアリングモデルを組み込んだ信用格付へ改定</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「TKC戦略経営者ローン」の商品化検討</li> <li>2. 信用格付制度改定実施</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「TKC戦略経営者ローン」の商品化</li> <li>2. 格付制度の遵守状況のフォロー徹底</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. TKC東北会青森県支部と「交流会」開催に向けて情報交換</li> <li>2. 信用格付制度改定に向けて検討継続</li> </ol>	
(5) 信用リスクデータベースの整備・充実及びその活用	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新財務スコアリングモデルによる格付の精緻化</li> <li>2. 自行実績データの検証継続</li> <li>3. 地銀協の共同システム構築によるポートフォリオ管理手法の確立</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 格付制度改定</li> <li>2. 自行実績データ検証</li> <li>3. 地銀協が中心となり、新データベースシステム構築等共同開発を実施</li> <li>4. 当行も共同システム導入に向け自行内部対応実施</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 格付制度の遵守状況フォロー</li> <li>2. 地銀協新共同システム本格稼働後、システム活用によるデフォルト率検証開始</li> <li>3. 提供されるモンテカルロシミュレーションの活用方法検討</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 格付制度改定検討継続</li> <li>2. 自行実績データの検証実施</li> <li>3. 地銀協の共同システム構築に参加</li> </ol>	

## 機能強化計画の進捗状況(要約) [地域銀行版]

### 2. アクションプログラムに基づく個別項目の計画の進捗状況

項目	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況 (15年4～9月)	備考(計画の詳細)
		15年度	16年度		
5. 顧客への説明態勢の整備、相談・苦情処理機能の強化					
(1) 銀行法等に義務付けられた、貸付契約、保証契約の内容等重要事項に関する債務者への説明態勢の整備	<ol style="list-style-type: none"> <li>行内規程等の見直し クレジットポリシー 融資事務手続等</li> <li>融資契約書等の 見直し</li> <li>会議・研修等による 周知・徹底</li> <li>内部監査等による 遵守状況監査</li> <li>苦情等の分析による 実態把握</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>クレジットポリシー 及び融資事務手続 の見直し</li> <li>融資契約書の見直し</li> <li>会議・研修等の実施</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>クレジットポリシー 及び融資事務 手続の見直し</li> <li>融資契約書の見直し</li> <li>会議・研修等の実施</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>クレジットポリシー及び融資 事務手続の見直し検討継続</li> <li>融資契約書の見直し検討継続</li> <li>会議・研修等で説明態勢の 周知・徹底</li> </ol>	
(3) 相談・苦情処理機能の強化	<ol style="list-style-type: none"> <li>「苦情・トラブル等対応 マニュアル」と「反社 会的勢力対応マニ ュアル」の制定と全店 配布の実施</li> <li>各機関との連携強化</li> <li>研修・会議等の実施</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>マニュアルの配布</li> <li>本部・営業店研修の 実施</li> <li>要因の把握と分析 実施</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>本部・営業店研修の 実施</li> <li>実例紹介(ケースス タディ)による再発防 止策・対応力強化実 施</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>マニュアル原案策定、「事務 ガイドライン」の改定を踏まえ、 その内容について一部再検 討中</li> </ol>	
6. 進捗状況の公表	<ol style="list-style-type: none"> <li>半期毎の決算発表と タイミングを合わせ、 6カ月間の進捗報告</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>15年11月公表</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>16年5月、16年11月 公表</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>公表に向け準備作業実施</li> </ol>	

## 機能強化計画の進捗状況(要約) [地域銀行版]

### 2. アクションプログラムに基づく個別項目の計画の進捗状況

項目	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況 (15年4～9月)	備考(計画の詳細)
		15年度	16年度		
各金融機関の健全性の確保、収益性の向上等に向けた取組み					
1. 資産査定、信用リスク管理の強化					
(1) 適切な自己査定及び償却・引当	1. 自己査定の精度向上のための自己査定システムの再構築	1. 格付・自己査定同時実施に係る導入システムの機能検討・要件チェック	1. 格付・自己査定同時実施システムの構築作業	1. 格付自己査定同時実施システムの構築概要を決定し、開発に着手	
(1) 担保評価方法の合理性、処分実績からみた評価精度に係る厳正な検証	1. 担保処分事例を3月末、9月末を基準に調査 2. 調査結果に基づき、担保掛目の妥当性を検証	1. 半期毎に前半期分の担保物件処分事例を調査検証	1. 半期毎に前半期分の担保物件処分事例を調査検証	1. 14年度下期分の担保処分事例を調査し検証	

## 機能強化計画の進捗状況(要約) [地域銀行版]

### 2. アクションプログラムに基づく個別項目の計画の進捗状況

項目	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況 (15年4～9月)	備考(計画の詳細)
		15年度	16年度		
2. 収益管理態勢の整備と収益力の向上					
(2) 信用リスクデータの蓄積、債務者区分と統合的な内部格付制度の構築、金利設定のための内部基準の整備等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自行実績データの蓄積を基本としながら外部データの活用を継続</li> <li>2. 新財務スコアリングモデルにより格付を精緻化</li> <li>3. 自己査定システムによる自己査定の精度向上</li> <li>4. 既往短期貸出先の貸出金利適正化目標の進捗と新規貸出金へのガイドライン金利適用遵守の徹底</li> <li>5. 新収益管理システムに基づく個社別採算管理手法の確立と地銀協共同システムを活用したプライシングロジックの再構築</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 信用格付制度改定</li> <li>2. 自己査定システム要件検討</li> <li>3. 「貸出金利適正化施策」の進捗フォローと取組み手法検討</li> <li>4. 個社別採算管理基準の設定と運用手続の策定</li> <li>5. 地銀協へのデータ提出</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自己査定システム構築</li> <li>2. 個社別採算管理に対応したプライシング施策としての新目標設定と取組み</li> <li>3. プライシングロジック再構築に向けた検討着手</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 格付制度改定実施に向け検討継続</li> <li>2. 格付自己査定同時実施システムの構築概要を決定し、開発に着手</li> <li>3. 「貸出金利適正化施策」により適用金利の見直しを実施</li> <li>4. 個社別採算管理基準の設定に向け各種管理指標を検討</li> <li>5. 地銀協共同システムの開発内容・スケジュールに沿って対応実施</li> </ol>	
4. 地域貢献に関する情報開示等					
(1) 地域貢献に関する情報開示等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 年度毎のディスクロージャー誌だけでなく、半期毎のミニディスクロージャー誌等にて公表</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 情報開示項目と開示方法を検討し、15年12月に公表</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 16年6月、12月に公表</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「地域貢献に関する情報開示の充実に向けた取組方針」における地銀協開示項目を踏襲し、公表に向け準備作業実施</li> </ol>	

## 中小企業金融の再生に向けた取組み

## 2. 取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化

(3) 要注意先債権等の健全債権化及び不良債権の新規発生防止のための体制整備強化並びに実績公表

具体的な取組み		<ol style="list-style-type: none"> <li>重点支援先は営業店管理先も含み100先程度を選定し、年間10%程度のランクアップ目標を設定して取組む。</li> <li>営業店サポートツールとして「経営者面談シート」「経営課題抽出シート」「経営改善計画チェックポイント」の作成と活用を促進する。</li> <li>企業再生をテーマとした営業店担当者向け研修の実施(年2回を目的)する。</li> <li>公認会計士、コンサルタント等による地域企業経営者向け講習会等を実施する。</li> <li>本部専担部署スタッフを研修、講習会等へ積極的に派遣(随時)する。</li> </ol>
スケジュール	15年度	<ol style="list-style-type: none"> <li>ランクアップ件数目標 10先(上期5先、下期5先)</li> <li>サポートツールの策定(上期)と運用開始(下期)</li> <li>営業店長向け公募による講習会の実施</li> <li>営業店担当者向け公募による講習会の実施</li> <li>企業経営者向け講習会の実施</li> </ol>
	16年度	<ol style="list-style-type: none"> <li>ランクアップ件数目標 10先(上期5先、下期5先)</li> <li>営業店長向け公募による講習会の実施</li> <li>営業店担当者向け公募による講習会の実施</li> <li>企業経営者向け講習会の実施</li> </ol>
備考(計画の詳細)		15年下期より、企業支援室担当先に営業店による改善支援先を加えて100先程度を「経営改善支援先」に選定し、取組みのボトムアップ、スピードアップを図る。
進捗状況(15年4月～9月)		
(1) 経営改善支援に関する体制整備の状況(経営改善支援の担当部署を含む)		<ol style="list-style-type: none"> <li>15年4月 機構改革により本部専担部署「企業支援室」を審査部審査課内チーム(旧RBCチーム)から審査部内独立部署として設置 人員 従来5名体制から7名体制に拡充</li> <li>「企業支援室」担当先の大幅な絞込みを実施(集中取組みの実践) 従来担当先 120数先から50先(グループ企業含み82先)に絞込み</li> <li>管理先への取組状況について定期的に常務会へ報告</li> <li>M&amp;A、ビジネスモデル再構築等の提案のため、外部専門機関との情報交換を開始</li> </ol>
(2) 経営改善支援の取組み状況(注)		<ol style="list-style-type: none"> <li>オーナー面談、企業実調を重視することにより、当行および経営者との間で課題の共有化を進めるとともに、経営者の意識改革を促進し、経営改善の実効性向上を図る</li> <li>上期オーナー面談、企業実調実施先 17先</li> <li>従前からの取組みに加えて、面談により経営課題が明確化され、改善に向けた経営者の取組姿勢も好転</li> <li>今後の課題 経営者の前向きな取組みに対して的確なアドバイスを行うための「企業支援室」スタッフのスキルアップ促進 経営者の現状認識の深化と経営者としての資質の向上</li> </ol>

## 経営改善支援の取組み実績(15年上期実績)

青森銀行

(単位：先数)

		期初債務者数	うち経営改善支援取組み先	のうち期末に債務者 区分が上昇した先数	のうち期末に債務者 区分が変化しなかった先
正	常 先	14,096	0		0
要 注 意 先	うちその他要注意先	730	25	4	17
	うち要管理先	296	18	1	16
破	綻 懸 念 先	146	7	0	5
実	質 破 綻 先	151	0	0	0
破	綻 先	76	0	0	0
合	計	15,495	50	5	38

(注1) 期初債務者数および経営改善支援取組み先には、個人ローン、住宅ローンのみの先は含まれておりません。

(注2) 経営改善支援取組み先は本部専担部署の取組み先を計上しております。  
(なお、15年下期より経営改善支援取組み先を新たに追加選定し、100先程度まで拡大することとしております。)